

# 稲光会報

第26巻32号

平成15年7月1日発行  
 編集 早稲田大学稲光会  
 発行者 北原輝久  
 発行字 滝口 宏  
 題字 刷 (有)パイン

## 都民大会で活躍

当会若手会員が5月24から25日、東京・リバーサイドスポーツセンターで行われた都民大会で活躍した。田中秀行(平成8年度卒)、高原庸介(同11年)、藤戸雅俊(同13年)、杉上健太(同15年)の4会員が新宿区(吉田友久監督)代表として出場、フルール3位、サーブル2位、エペベスト8と健闘し、総合成績で3位に入賞したものである。4人とも月曜会あるいは土曜日練習の常連で、フアイティング等をコンスタントに続けていた成果が現れたものといえる。年配会員諸氏向きにはベテラン選手権大会(11月3日、母校フエンス道場、40歳以上)があります。遠慮なく練習に参加してください。



左から高原、藤戸、田中、杉上の若手OB

## 川名監督、学連会長に

今年度4月1日付けをもって、川名宏美監督が関東学生フェンシング連盟の会

長に就任した。北岡安才前会長が東京都協会の会長に就任したため、その後任に推されたもの。母校監督兼任として任にあたるもので、すでにリーグ戦の開閉会式での会長挨拶等を行っている。

●川名宏美監督の話  
 北岡前会長のたつての頼みということでも、お引き受けざるを得ませんでした。故滝口先生が会長をされていたので、自分としては10年早い感じですが、こうなったら母校選手に総合優勝旗を授ける日のくることを楽しみに頑張ってみます。



## 合宿案内

本年度の合宿は長野県です。冬場はスキー客で賑わうよませスキー場で、9月上旬という季節なら涼しい場所です。左記により実施いたしますので奮ってご参加ください。

- 期間  
 9月8日(月) 移動日  
 9月9日(火) 11日(木) 前半練習  
 9月12日(金) 休養日  
 9月13日(土) 15日(月)

後半練習  
 9月16日(火) 打ち上げ  
 試合、納会  
 9月17日(水) 帰京  
 ●場所  
 長野県下高井郡山之内町夜間瀬(よませ)よませスキー場  
 ●ホテル カスケード  
 TEL 0269-331155 FAX 0269-331123  
 ●問い合わせ  
 早稲田大学フェンシング部 主務 星野 聡  
 TEL 090-135768952

## 新人紹介

15年度の新入部員を紹介します。今年は女子にインターハイ1位、2位がそろい、また男子にもJOCエペ優勝者が入るなど、昨年以上の強力補強。なお第1回部推薦入部に男子・増田、女子・島田がそれぞれ入部した。①氏名 ②学部 ③出身校 ④主な競技歴 ⑤抱負



①森 友紀(もり・ゆき)  
 ②一文 ③熊本県立済々黉高 ④14年総体フルール優勝、13年総体同2位、世界カデ(14、16歳)日本代表 ⑤大学のリーグ戦を経験し、反省点を確認しました。とにかく早く強くなりたいです。



①吉沢 千恵(よしざわ・ちえ)  
 ②教育 ③群馬県立沼田女子高 ④14年総体フルール2位、13年総体2位(団体)、団体優勝 ⑤妥協することなく練習に励み、試合で良い結果を出したいと思っています。



①島田 夏子(しまだ・なつこ)  
 ②スポーツ科学 ③大分県立大分豊府高 ④15年JOCサーブル4位、14年総体ベスト8(団体)、団体3位

⑤まず新人戦で優勝すること、次に日本代表選手になることを目標に頑張ります。



①坂 俊甫(さか・しゅんすけ)  
 ②一文 ③香川県立高松高15年JOCエペ優勝、ジュニア日本代表、14年JOCエペ優勝、カデ日本代表、アジアユース選手権大会カデエペ3位 ⑤早稲田にいる間に日本代表選手となり、世界に進用する実力を身につけたい。



①増田 誠治(ますだ・せいじ)  
 ②スポーツ科学 ③東京都・東亜学園高 ④14年総体フルールベスト32、関東大会ベスト16(団体) ⑤男子サーブルの一部復活を目指して実力をつけられるよう頑張ります。

# リーグ戦男子は一部死守、女子はサーブル一部復帰！ ジュニアと世界選手権へ4名！

男子は一部死守、女子はサーブル一部復帰！平成十五年度関東学生リーグ戦(四月二十日～五月九日、中大、駒沢屋内球技場)で、昨年一部復帰を果たした男子フルールが5位、同エペは4位と健闘、一部の座を守った。女子サーブルは入替戦で法大を二蹴し一部に復帰した。また、好調女子部がまたまた好結果。ジュニア日本代表3人、ナショナルチームに1人と4人が世界に羽ばたいた。



世界ジュニア代表となった三人。左から武山(エペ)、伊藤(サーブル)、松木(フルール)。下はナショナルチーム入りの川口

リーグ戦に先立って1、2月に行われた選考会の結果である。第10回ジュニアオリンピック大会(1月10日～14日、東京・駒沢体育館)で、松木夕佳(大分・情報科学高、法2年)がフルール2位、武山佳恵(岐阜・大垣南校、教育2年)がエペ優勝、伊藤明日香(大分豊府校、教育2年)がサーブル3位となり、それぞれジュニア世界選手権



大会(4月、イタリア・トラパニ市)に出場を決めた。また世界選手権(10月、キューバ・ハバナ市)代表最終選考会(2月8日～11日、東京・厚生年金スポーツセンター)では、川口泰代(香川・高松高、一文4年)がエペで優勝、ナショナルチーム入りした。ただしこちらは、準ナショナルチーム2人を含む6人でワールドカップ5大会に参加のため、目下ヨーロッパを転戦中。その成績により上位4人が日本代表となる。上記4選手を励まし、同時に遠征費の一部を補填するため、当会ではひろく会員諸氏に寄付金を募り、65人から計59万5000円が集まりました。早速、ジュニア3選手に1人5万円ずつ、川口選手に20万をそれぞれ贈りました。会員諸氏のいつに変わらぬ熱いハートに心から感謝の気持ち一杯です。





# 入替戦

入替戦の女子サーブルは立ち上がり躓いた。緒戦の伊藤明日香(教育2年)が、法大の元日本代表小川に2-15、続くエース杉山文野(教育4年)が6-15と苦戦し8-10とリードされたのである。この重い空気を断ち切ったのが松木夕佳(法2年)。3番手で出場し、1年生の門を7-10で降り、試合をあっさりひっくり返したのだ。これで流れが変わった。

以後は粘る法大を相手に着々と5点ずつ加点し、最終ラウンドに入るや松木、伊藤が2戦連続で5-11勝負、一気に法大を突き放した。サーブルは助っ人種目のはずであった松木がこの試合と驚くべき好成績でチームを引張り、勝利を導いたといえる。大殊勲である。



男子の健闘をまずは称えたい。対日大戦での圧勝である。リーグ戦2日目の4月22日、両校ともそれまで4戦4敗での対戦だった。緒戦前田智之(教育2年)、2戦目柳川明史(理工4年主将)が共に3-15で、日大がスタートで10-16とリド。

重苦しい雰囲気だったが、3番手の渡辺崇宏(教育3年)が頑張った。素早い前後の動きとリーチを生かした攻撃で相手を圧倒、9-1



この結果、来年度の女子は3種目とも1部リーグとなり、有望な若手選手を抱えていることから、戦力が一段とアップし、十分に総合優勝を狙える好位置に立ったといえる。

勝った！ 法大を降し、一部復活を果たした女子サーブル陣。左から島田、伊藤、杉山、松木



# リーグ戦

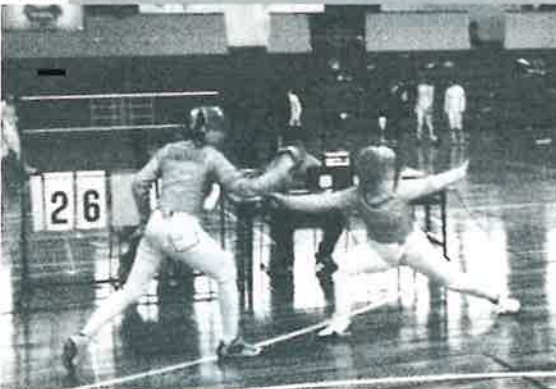
4と試合をひっくり返し、続く前田も5-11で終わりの20-15と逆に5ポイントのリードを奪ったのだ。中盤2試合はもみ合いとなったが、最終ラウンドは一方的な展開。この3試合で早大の得点15に対し、日大はわずか5。45-131の快勝に終わった。

息切れ日大に対し早大は明らかに地力がついている。筋力トレーニング、スーパード・サーキット等を導入した練習により体力アップ、終盤戦に入ってもスピードが衰えない等、良い結果につながっている。特に渡辺(崇)の進境が目覚ましい。他大学のレギュラー選手と互角に戦っている。来年の中心戦力として大いに期待できそうだ。

エベはメンバーの良さもあって、2勝しての4位。緒戦で優勝校の法大に勝つ金星を上げたのも立派。この試合、緒戦に古宮高(法3年)が5-10。最終戦に主将・柳川が7-3。好スタートと好締めくりと言

う文句のない試合だった。最終戦の対日大戦も柳川が活躍した。0-12スタートの2戦目、柳川は7-12と一気に流れを変えたのだ。そしてこの試合も最後の2試合で決めた。27-27から、まず古宮が10-3、そして柳川が8-6、ラスト2試合の得点が早大18に対し日大は半分の9。特に二枚腰の強さといつてよいだろう。

女子は、男子に比べると「不甲斐ない」の一言。戦力的には十分に優勝争いに加わることが出来る陣容を備えているがフル1-5位、エベ3位はいただけない。原因の一つは精神面の脆弱さにある。一人崩れると連鎖的に崩れて行く。競り合いに弱い。最後の粘り強さが無い。最後の具合で、今年は観ていて後味の宜しくない試合が多かった。来年に向けての強化策の中心に「精神面を鍛える」事を据える必要があると痛感している。(監督 川名宏美)



● 2003年度関東学生リーグ戦 日時 4月20日～5月9日 場所:駒沢屋内球戯場ほか

男子フルーレ(1部) 早稲田 D33-V45 法 政 早稲田 D34-V45 専 修 早稲田 D23-V45 中 央 早稲田 D38-V45 日 体 早稲田 V45-D31 大	男子エベ(1部) 早稲田 D43-V44 専 修 早稲田 D39-V45 中 央 早稲田 V45-D40 法 政 早稲田 D35-V43 東 農 早稲田 V45-D36 日 体	男子サーブル(2部) 早稲田 D44-V45 拓 大 早稲田 V45-D26 明 大 早稲田 V45-D15 東 大 早稲田 V45-D32 國 大 早稲田 V45-D33 防 大	<結果> 男子フルーレ 1部 5位 男子エベ 1部 4位 男子サーブル 2部 2位
女子フルーレ(1部) 早稲田 D23-V45 日 体 早稲田 D39-V45 東 女 早稲田 V45-D38 法 政 早稲田 D44-V45 専 修 早稲田 D37-V45 中 央	女子エベ(1部) 早稲田 V45-D42 日 大 早稲田 V45-D27 法 政 早稲田 V45-D41 東 女 早稲田 D25-V27 日 体 早稲田 D37-V45 中 央	女子サーブル(2部) 早稲田 V45-D37 東 農 早稲田 V45-D15 明 治 早稲田 V45-D13 國 学 早稲田 V45-D13 外 大 早稲田 不戦勝 中 央	<結果> 女子フルーレ 1部 5位 女子エベ 1部 3位 女子サーブル 2部 優勝

● 入れ替え戦 日時 5月17日 場所 専修大学体育館

女子サーブル  
早稲田 V45-D38 法 政  
1部昇格